

学校名	佐賀県立唐津特別支援学校
-----	--------------

1	前年度 評価結果の概要	・学校の教育目標に沿った教育活動を実施することができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止と並行しながら学校行事や学習活動を工夫し、ほぼ予定どおりの活動を行うことができ、児童生徒の主体的に学ぶ意欲や活動を喚起することができた。 令和6年度においては、本年度の反省を生かし、更に工夫を重ねながら、充実した教育活動を行いたい。また、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、学校、家庭、地域が連携しながら学校の教育目標を実現したい。さらに業務や行事を精選しながら働きやすい職場の実現に取り組みしたい。
---	----------------	---

2 学校教育目標	児童生徒一人一人に応じた教育活動を通して、子どもたちの持つ可能性をできる限り広げ、校風にうたっている「明るく元気に生きる力」「心豊かに生活する力」「たくましく自立し社会に参加する力」をはぐくむとともに、他人を思いやることのできる児童生徒を育成する。
----------	--

3 本年度の重点目標	○子どもが今日の学校生活に満足し、明日の学校生活を期待することができる学校をつくる。 ○子どもが今日の学校生活を「自分から」「自分で」取り組み、「やりがい」「手ごたえ」を感じ、「精一杯」「存分に」活動し、「充実感」「満足感」に満ちることができる学校をつくる。
------------	---

4 重點取組內容・成果指標	5 最終評價
---------------	--------

[illegible]

(C)本年度重点的に取り組む独自評価項目						
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価
評価項目	重点取組内容	成果指標 (達成率・到達率)		達成度 (評価)	実施結果	
○進路指導	○一人一人に即した進路指導の充実 ○進路指導に関する会議についての保護者の評価を向上させること	○児童生徒及び保護者のニーズに応じた進路指導を実施すること。 ○保護者向けの進路学習会を、学年別時期に応じて適切に実施する。 ○進路サポートセンターの積極的な活用を図る。 ○進路の就業、施設見学等について、積極的に企業と関わり、職業体験の機会を増やす。	A	「生徒・保護者の将来の目標などを踏まえ、進路選択につなげることができた。」 「生徒・保護者の将来の目標などがある程度一致しているが、進路の参加につなげることができていない。進路決定及び福祉サービスの利用についてなど、内容や実施方法が異なっており、進路決定へのつながりが弱い。保護者の学習意欲も増加が実感していない。職員からの声かけをもたえ入れる。また、進路担当からも生徒・保護者のニーズに応じた進路指導ができるように、職員向けの学習会や進路決定までの両方、サービスに関与して対応できるようにしたい。」 「新規の一般企業開拓を行うことができた。浜五羽・肥前町周辺にも今後、力を入れていく。」	A 「新規の一般企業開拓が見えてきたことは、何よりである。今後もやりたいことを一人一人の実情に合わせて提供していきたい。」 「一般就労や一人ひとりの希望などに合わせてほしい。何卒の選択枝を増やしてほしい。」 「進路協定などがあっても、アフターフォローをしつかりやってほしい。」	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…特色を高める教育

5 総合評価・	・学校の教育目標に沿った教育活動を実施することができた。コロナ禍の影響で現れた学校生活とつながり、学校行事や学習活動を工夫し予定どおりの活動を行うことができた。児童生徒の主体的に学ぶ意欲や活動を後押しすることができた。
次年度への展望	・令和6年度においては、本年度の反省を生み、更に工夫を重ねながら、充実したよりよい教育活動を行いたい。また、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、学校、家庭、地域と連携しながら学校の教育目標を実現したい。 ・時間外在校時間等の一層の削減に向けて業務内や行事の在り方について精選しながら働きやすい職場の実現に取り組みたい。